

「それだつて、仕方がないや、生れた時から、そういう癖がついて居るのだもの」

(六年二月 男)

○ 戦争ごつこで野戦病院が出来た。看護婦の幼児が各病床を見舞ふ。やがて總指揮官の病床へ廻つて来た。其の大將に木綿の羽織のかけてあるを見て「アラ、えらい大將でいらつしやるのだから、絹のお羽織をかけて上げなければいけないのだは」

(五年十月 女)

○ 日比谷公園への遠足、保姆の手足から一人連れてゆく由を前から話して置いた。處が途中からいま一人加はることになつて、何時かあとからついて來るのを見出して、

「やあ先生が二人になつたから、西洋までもいかれるなあ」

(六年 男)

入園したばかりに、貴方は菊枝ちゃんとおつしやのですかと顔をのぞいた。すると意外、
「あーら、いやな先生だこと、わたしは菊枝ちゃんじゃなくつてよ、菊枝さんだわ」

(四年十月 女)

○ 日が照つて居て雨がふる。△ちゃん窓から首を出して、

「あら、いやーだ、お天氣の雨がふつてる。おてんとう様随分老碌だわねー」

(五年三月 女)

かいる材料をかく多く集めるは容易ならぬ根氣であります併しその興味と有益は、そのお骨折りに充分酬めると思ひます。後藤さんの勞を多とすると共に、廣く諸方の方々からも此の種の材料を澤山寄せられんことを希望致します。その中に斯かる材料が如何に幼児研究上に用ゐられるかに就てお話し度いと思つて居ます。(編者)

保育の實際

○ 唱歌紹介

(甲賀ふじ子氏)

フレブル會夏期講習會に於て甲賀講師の教授せられたるものを誌上にも頂戴いたしました。(編者)

おたまじやくし



1. オー タ マ ツヤク シハ カ ヘル ノ コ



オ ー ヤ ニ ニ ナ イ カ ヘル ノ コ

二、いつもくも、

およいでる、

あたまはまるく、

をはながい。

三、あしが無いのに、

はしっこい、

れてあるうちに、

しやくひませう。

四、だいじにそだて、

やりませう、

はやくてあしが、

はへてこい。

五、かへるになつたら、

うたうたへ、

かへるになつたら、

クワクワ~~~~~!

小　さ　い　お　に　は



1. ちいさい おには よくなら して かほいい

2. そのうち たれに めがはへ でて つちから



たねを まきましたら お日さんに こくに
かほいい あたまを あげ だん々々 のびて



わらてな がめ あめはしよほしよほ みづをま いた
なつがき たら つぼみが できて はながさ いた

婦人どきも第十卷第八號

いへつくり



1. コー、ノ オヤマチ キリヒラ キ イーシチ
 2. をーきな いしなげ すゑつけ て つーいて



ハコビテ イシガク チ ツミアゲ ツミアゲ
 かためて しつかり と どだいが できたら



ツミアゲ テ ツーチチ キレイニ ナラシマ セウ
 そのうへ に いくづも ふーとい はしらた て

三、

かもあやしきゐを

くみあはせ、

屋根をこしらへ

かべぬりて、

たいみやふすまを

あたらしく、

入れてお家が

出来ました。

四、

ひろいおにはの

あちこちに、

お花をいろく

うえました、

みなさんお客に

来て頂戴、

お花やおにはを

見せませう。